

学校だより

横浜市情報ネットワーク（ＹＹネット）上に本校のホームページがあります。

URL:<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/es/tookaichiba/>

夏休み号(8月号)

令和2年7月31日(金)

緑区十日市場町 1392-1

電話:981-0420-7119

FAX:983-1694

今、必要とされる資質・能力 ～ネガティブ・ケイパビリティ～

校長 平田 あや

7月末になっても、まだ雨が降り続き、梅雨明けが待たれる日々です。保護者や地域の皆様には、いつも温かいご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。

学校が再開されて2か月が経ちました。新型コロナウイルス感染防止策を講じながら進める学校生活は、まだまだたくさんの制限があります。不特定多数の児童が触る用具使用は原則禁止のため、子どもたちが大好きな遊具や休み時間のボール使用はできません。しかし、子どもたちは「遊びの天才」です。休み時間になると、笑顔いっぱいの子どもたちが外に出てきて、ひたすらに友達と走り回っています。友達と一緒に虫を探して、目を輝かせている子どももいます。今の不自由な生活の中で、できないことを数えるのではなく、制限された生活の中でも積極的に楽しむことができる子どもたち。「楽しみを見出す天才」といってもよいのかもしれない。

先日のある会議で、私は「ネガティブ・ケイパビリティ (negative capability)」という言葉に出会いました。この言葉は、「どうにも答えの出ない、どうにも対処のしようがない事態に耐える能力」をさします。私たちは、「能力」と言えば、才能や才覚、物事の処理能力、何かを成し遂げる力を想像します。問題が生じれば、的確かつ迅速に対処する能力を養成することが必要だとされています。しかし、現実の社会は、どうにも変えられない、とりつくすべもない事柄に満ちています。むしろ、分かりやすく処理しやすい事象よりも多いかもしれません。現在、世界を覆っている新型コロナウイルス感染は、まさにそうした状況と言えるでしょう。

学ばば学ぶほど、未知の世界が広がっていく。学習すればするほど、その道がどこまでも続いていくのがわかる。答えの出ない問題を探し続ける挑戦こそが、教育の真髄です。先の見通せない不安定な今だからこそ、この「ネガティブ・ケイパビリティ」の底力—いわゆる「ふんばる力」を子どもたちの中にしっかりと育てていきたいと思えます。

明日から夏休みに入ります。今年度は、臨時休業の影響で短い夏休みとなっておりますが、7月までの学習を振り返ったり、ゆっくりと休養したりして、有意義な時間となるよう願っております。夏休み明けに、元気な子どもたちに会えるのを楽しみにしております。

◆登下校時の自家用車・バイクでの送迎禁止

- ・登下校時の正門付近駐車について、近隣の皆様より「事故につながる危険」「ドアの開け閉め音」「エンジン音」等、児童の安全や騒音に関するご意見を多数頂戴しております。
- ・けがや病気のために送迎が必要な場合は、事前に学校にお申し出ください。「臨時駐車許可証」をお渡しします。それ以外の理由での送迎はお控えください。児童の安全確保のため、ご協力をお願い致します。